

現在の地域における各事業の展開状況

地域（小学校区を想定）

コ コーディネーター

A
学校支援活動
コ

B
放課後子供教室
コ

C
土曜日の
教育活動
コ

D
学校と連携した
地域社会での学習活動
コ

.....

活動に関わる地域住民
（ボランティア）

これからの地域における学校との協働体制の在り方について（イメージ案）

※第3章関係

地域（小学校区を想定）

コ コーディネーター

地域社会における
学習、学習成果の
活用（社会教育）

A

学校支援活動

例：キャリア教育の出前授業、
登下校安全確保

B

放課後子供教室

C

土曜日の
教育活動

D

学校と連携した
地域社会での学習活動

例：親子で高校教員から学ぶ
郷土史

E

学校と連携した
地域活動

例：地域住民と生徒が一緒に行う
防災訓練、環境美化活動

F

学校と連携した
まちづくり

例：商工会と生徒の共同研究に
よる地元ブランド開発

「〇〇地域本部（仮称）」（共通基盤）

コ

H28概算要求：〇 全ての小学校区に地域コーディネーターを配置

〇 市町村ごとに統括コーディネーターを配置（未実施地域における取組実施を加速化するとともに、地域コーディネーターの
資質や取組の質の向上を図る）

目標1【体制整備】

（第2期教育振興基本計画期間）

平成29年度までに、全ての小学校区において、放課後子供教室や、学校支援地域本部などの事業活動とともに
地域が学校と組織的・継続的に連携・協働する体制を構築

目標2【名実ともにパートナーへ】

将来的には、「学校支援」を超えたパートナー関係を築き、地域と学校が共に創る教育を実現

★教育課程の実施への協力、★放課後や土曜日の活動への支援、★学校支援活動、★地域課題の解決 など

A～F等の活動を学校と協働
して実施するための地域側の
体制（地域コーディネーター
を核とする人的ネットワーク）